

【資料1】

令和元年度 青森県地域年金展開事業 取組報告



日本年金機構

Japan Pension Service

青森年金事務所
(青森県代表年金事務所)

目 次

1 地域連携事業

- (1) 事業の取組結果
- (2) 総括・分析と今後の対策

2 年金セミナー事業

- (1) 事業の取組結果
- (2) 総括・分析と今後の対策

3 地域相談事業

- (1) 事業の取組結果
- (2) 総括・分析と今後の対策

4 年金委員活動支援事業

- (1) 事業の取組結果
- (2) 総括・分析と今後の対策

5 「ねんきん月間」「年金の日」の取組

6 青森県地域年金事業運営調整会議

- 第15回青森県地域年金事業運営調整会議時の意見への対応状況

7 各年金事務所の取組状況

1 地域連携事業

(1) 事業の取組結果

① 自治体との連携

- ・ 県内の各年金事務所において、管内市町村国民年金事務新任担当者研修会や制度改正などの国民年金事務担当者研修会を実施しました。

令和2年3月31日現在

事務所名	平成30年度		令和元年度		増 減	
	実施回数	出席人数	実施回数	出席人数	実施回数	出席人数
青 森	3回	26名	2回	23名	1回減	3名減
八 戸	4回	29名	2回	28名	2回減	1名減
弘 前	3回	78名	2回	48名	1回減	30名減
む つ	2回	26名	2回	29名	増減なし	3名増
合 計	12回	159名	8回	128名	4回減	31名減

- ・市町村の国民年金事務担当者に対し、情報誌「かけはし」を発行し、制度、事務手続き、各種お知らせの周知を図りました。(奇数月発行)
- ・市町村発行の広報誌への公的年金制度の周知に関して掲載依頼を実施しました。
- ・防災無線やケーブルテレビなどの広報媒体を活用した制度広報等の協力をいただきました。
- ・全市町村に「わたしと年金」エッセイ募集ポスターの掲示、リーフレットの設置をしていただきました。
また、11月には、「ねんきん月間」周知用ポスターの掲示、チラシの設置をしていただきました。
- ・各年金事務所において、各管内市町村に対し予約制年金相談周知用ポスター及びチラシの掲示等の協力依頼を実施しました。
- ・成人式において、国民年金制度リーフレットを配布していただきました。
- ・青森県(健康福祉政策課)より公的年金加入状況等調査にかかる調査員募集等のご協力をいただきました。

② 東北厚生局との連携

- ・学生納付特例事務法人の指定勧奨について、東北厚生局に同行し大学や青森県専修学校各種学校連合会に対して勧奨を実施しました。
- ・青森県都市国民年金協議会には、東北厚生局とともに出席し、自治体における公的年金制度の課題等について意見交換を行いました。

③ 関係団体との連携

- ・ 社会保険労務士会との打ち合わせを毎月実施し、各年金事務所の相談窓口の業務委託の状況や課題等について、情報共有を図りました。
- ・ 各関係団体との共催による研修会・説明会の実施および各関係団体主催による研修会・説明会へ講師派遣を行いました。
- ・ 「街角の年金相談センター青森(オフィス)の運営」及び「各年金事務所の年金相談窓口の業務委託」について、オフィス及び青森県社会保険労務士会と定期的な打ち合わせを実施し、お客様にとってより身近で便利な年金相談窓口として利用していただけるよう協力・連携を図りました。
- ・ (一財)青森県社会保険協会発行の「社会保険 あおもり」に記事の提供を行い、事業所に対して社会保険制度の周知を図りました。(偶数月発行)

令和2年3月31日現在

団 体 名	実施回数	参加者数	開催事務所	内 容
一般財団法人青森県社会保険協会	4回(4回)	150人	全事務所	初任者社会保険事務研修
青森県社会保険労務士会八戸支部	1回(1回)	22人	八戸	公的年金制度について
青森県社会保険労務士会むつ支部	1回(1回)	6人	むつ	公的年金制度について

＊注：実施回数()内は平成30年度実績

④ その他特徴的な取組

【青森】

- ・ 県内における予約制年金相談の周知のため、青森県代表年金事務所として、青い森鉄道に対して、各駅におけるポスター掲示の協力依頼を継続実施しました。
(26駅)
- ・ JR青森駅構内における予約制年金相談の周知のため、周知用ポスターの掲示の協力依頼を継続実施しました。
- ・ ねんきんネットの利用促進のため、東北町に対して「東北町テレビ」を活用し動画による広報の協力依頼を実施しました。
- ・ 青森県相談支援専門員等協会主催「実践研修」において、障害年金等年金制度について説明を行いました。(43名)

【八戸】

- ・ 労務管理事務所三沢支部主催「退職準備研修会」において、同事務所職員に対して退職後の年金制度等について説明を行いました。(40名)
- ・ ねんきんネットの利用促進のため、出張相談や年金セミナーなど被保険者との接触時を活用し、利用促進用リーフレットの配布を実施しました。

【弘前】

- ・ ハローワーク弘前と連携を図り、事業所閉鎖に伴う国民年金制度や手続き等について、一般被保険者への説明会を実施しました。(1事業所39名)

- ・ねんきんネットの利用促進のため、年金セミナー実施において利用促進用リーフレットの配布を実施しました。

【むつ】

- ・ねんきんネットの利用促進のため、下北社会保険委員会に対して、協力依頼を実施しました。
- ・「わたしと年金」エッセイ募集について、事務説明会への参加者に対して協力依頼を実施しました。

(2) 総括・分析と今後の対策

総括・分析	今後の対策
・自治体との連携において、市町村担当職員に対する研修会の回数が、前年度実施した制度改正説明会が開催されなかったため減となりました。 ・ねんきんネットおよび予約相談利用のため周知用ポスター・リーフレットの掲示をしていたが、広報にご協力をいただきました。 なお、周知・広報にご協力いただいている関係団体が固定化となっている状況です。	・今後も市町村職員のニーズをお聞きしながら事業計画に沿った研修会を実施してまいります。 ・研修会に限らず、市町村職員のご意見を伺える機会を設けながら一層の連携を図ってまいります。 ・今年度の取り組みを継続し、各種制度広報等の周知・啓発のため、自治体を始めとした関係団体等と引き続き連携を図りながら広報を進めて行きます。 ・新たな連携を図れる関係団体に接触を試みます。

2 年金セミナー事業

(1) 事業の取組結果

① 年金セミナー開催に向けたアプローチ

- ・青森県教育庁や高等学校長協会等の関係機関の協力を得て周知を図るほか、高校・大学等に対し年金セミナーの実施に向けた協力要請を実施しました。
- ・各高校におけるセミナー終了時に、2学年主任や現担当者に対して、次年度における早い時期でのセミナー開催について、協力依頼を実施しました。

＜アプローチ数：217回（平成30年度：230回）＞

② 年金セミナーの実施

- ・上記アプローチの結果、下記のとおり昨年度と同様の68校実施し（新規実施校8校）において、実施することができました。なお、新型コロナウイルス感染症対策のため2校において、セミナーが中止となりました。

○ 年金セミナー実施状況（事務所別）

令和2年3月31日現在

事務所名	平成30年度	令和元年度	増減	新規実施校
青 森	16校(16回)	13校(13回)	3校減(3回減)	0校(0回)
八 戸	30校(31回)	31校(32回)	1校増(1回増)	5校(5回)
弘 前	14校(14回)	16校(16回)	2校増(2回増)	3校(3回)
む つ	8校(8回)	8校(8回)	増減なし(0回)	0校(0回)
合 計	68校(69回)	68校(69回)	増減なし(0回)	8校(8回)

○ 教育機関別実施内訳

令和2年3月31日現在

教育機関	平成30年度	令和元年度	増 減
大学、短大	2校 (444名)	2校 (280名)	増減なし (164名減)
各種学校	14校 (532名)	13校 (570名)	1校減 (38名増)
高等学校	52校 (6,120名)	53校 (6,128名)	1校増 (8名増)
合 計	68校 (7,096名)	68校 (6,978名)	増減なし (118減)

※ () は受講者数



年金セミナーの様子

③ 年金セミナーアンケート結果

アンケートに協力をいただいた64校(6,212名)の結果において、年金に対するイメージが大幅に改善されています。

○ 「とても良い・まあ良い」と回答した者の人数割合

令和2年3月31日現在

教育機関	受講前	受講後
大学・短大	—	—
各種学校	47.4% (207名)	73.9% (323名)
高等学校	59.0% (3,405名)	70.5% (4,073名)
合 計	58.1% (3,612名)	70.8% (4,396名)

※ 詳細は、別添「年金セミナー アンケート集計結果」を参照。

④ 関係団体との協力連携

・青森県との協力連携

青森県教育庁及び総務部総務学事課に対して、県内の公立高等学校及び私立中学校・高等学校における、年金セミナーの実施及び「わたしと年金」エッセイ募集について、協力依頼を実施しました。

・青森県高等学校長協会との協力連携

県内の公立高等学校における、年金セミナーの実施及び「わたしと年金」エッセイ募集について、協力依頼を実施しました。

・青森県内市町村教育委員会との協力連携

県内中学校における「わたしと年金」エッセイ募集について、協力依頼を実施しました。

・自治体、関係機関との協力連携

青森県立図書館、青森市民図書館および男女共同参画プラザに対して、「わたしと年金」エッセイ募集のポスター掲示及び過去の入賞作品の設置の協力依頼を実施しました。

⑤ 令和元年度「わたしと年金」エッセイ応募結果

・青森県内からの3名の応募がありました。(一般 2名、 学生(高校) 1名)

○ 参考(全国)

年度	一般	学生			合計
		中学生	高校生(専門学校等)	大学生	
平成30年度	119名	53名	957名(28名)	25名	1,154名
令和元年度	104名	11名	1,141名(9名)	34名	1,290名

⑥ 地域年金推進員の活用

学校との連絡・調整や生徒へのプレゼン能力に長けた教職員OB2名を「地域年金推進員」として委嘱し、県内地域を青森・弘前年金事務所管内と八戸・むつ年金事務所管内の2地区に分け、高等学校を中心に年金セミナーの実施及び「わたしと年金」エッセイの応募について、協力依頼を実施しました。

平成30年度に引き続き2名の地域年金推進員によるきめ細かなアプローチを継続的に実施し、八戸及び弘前年金事務所管内において、新たに5校と3校から年金セミナーの依頼を受けています。

(2) 総括・分析と今後の対策

総括・分析

- ・ 年金セミナーについて、新たに実施する学校が8校増加となり、前年度の実施数を確保する状況となりました。
- ・ 高校における年金セミナーの開催時期が、全体の62%が2月に集中している状況にあります。
- ・ 「わたしと年金」エッセイ募集について、関係団体に対して、パンフレットの設置及び、ポスター掲示の協力依頼を行いました。今年度の応募者は3名にとどまりました。

今後の対策

- ・ 昨年度以上の年金セミナー実施に向け、関係団体のご協力をいただきながら地域年金推進員との連携によりアプローチを実施してまいります。
- ・ 年金セミナーのアプローチや実施にあたっては、日程調整を含めた早期の取り組みや実施体制の工夫など行ってまいります。
- ・ 「わたしと年金」エッセイ募集について、関係団体への協力依頼と、年金セミナー開催校への取組を引き続き行ってまいります。
更に、教育機関への取り組みにあたっては、文芸部等担当の先生へ接触を図るなど、工夫を凝らした取り組みを行ってまいります。

3 地域相談事業

(1) 事業の取組結果

① 市町村での出張相談

年金事務所に直接出向くことが困難なお客様の利便性向上や市町村の要望により、県内3事務所において出張年金相談を実施しました。出張相談の実施日については、「日本年金機構からのお知らせ」に掲載し、市町村広報誌に掲載を依頼するとともに、地域型年金委員向け広報紙「支えあい」にも掲載し、周知に努めました。

また、出張相談においても、予約制を行うことにより、効率的に年金相談が実施できました。

なお、各出張相談においては、街角の年金相談センター青森(オフィス)から1名を配置していただき、共同で実施しました。

令和2年3月31日現在

事務所名	実施場所及び実施日程	相談者数	
		平成30年度	令和元年度
青 森	野辺地町(偶数月)	37名	57名
	七戸町(奇数月)	32名	42名
八 戸	十和田市役所(毎月1回)	171名	201名
	三沢市(偶数月)	48名	74名
弘 前	五所川原市役所(毎月1回)	112名	135名
	つがる市役所(毎月1回)	121名	126名
合 計		521名	635名

② ハローワークにおける国民年金説明会の実施状況

すべてのハローワークの離職者説明会において、国民年金の種別変更及び、国民年金保険料免除制度の手続きについて、周知を図りました。

また、説明会終了後には、離職後の年金手続等の相談会も併せて実施しました。

新型コロナウイルス感染症対策のため、3月以降は県内のハローワークにおける離職者説明会は中止されており、国の緊急事態宣言解除後は新型コロナウイルス感染防止対策が整ったハローワークから離職者説明会が再開されています。

令和2年3月31日現在

事務所名	ハローワーク名	参加者数	相談者数
青 森	青森・野辺地	3,829人 (4,359人)	513人 (571人)
八 戸	八戸・十和田・三沢	5,443人 (5,117人)	718人 (598人)
弘 前	弘前・黒石・五所川原	5,438人 (6,110人)	371人 (459人)
む つ	むつ	736人 (688人)	272人 (505人)
合 計		15,446人 (16,274人)	1,874人 (2,133人)

*注：()内は平成30年度実績

③ 「ねんきんネット」利用の促進

各年金事務所において、年金相談や国民年金手続きで来所された方を始め、年金委員や適用事業所(被保険者)等へ「ねんきんネット」利用に必要なアクセスキーの発行を行い、各年金事務所ともに機構本部で示した発行目標数を上回ることができました。

○目標達成状況

令和2年3月31日現在

事務所名	目 標	実 績	達 成
青 森	2,349	3,622	154.2%
八 戸	2,709	5,466	201.8%
弘 前	2,587	3,010	116.4%
む つ	587	640	109.0%

(2) 総括・分析と今後の対策

総括・分析

- ・ 年金事務所が遠い地域の住民の利便性を確保するため、市町村の協力を得ながら出張年金相談を行いました。
- ・ 市町村における出張相談の開催にあたり、街角の年金相談センター青森(オフィス)と連携し共同で実施しております。
- ・ すべてのハローワークの離職者説明会において、国民年金手続きの周知を実施することができ、離職された方々の身近な相談の機会となっております。

今後の対策

- ・ 市町村での出張年金相談については、お客様の利便性向上のため街角の年金相談センター青森(オフィス)と連携し引き続き実施してまいります。
- ・ 国民年金手続きや失業による特例免除制度の周知等を進めるうえでは、ハローワークでの説明会は貴重な機会であり、引き続き協力連携を図ってまいります。
- ・ 対面による相談時には、新型コロナウイルス感染防止対策を図りながら実施していく必要があります。

4 年金委員活動支援事業

(1) 事業の取組結果

① 年金委員への研修会、意見交換会の実施

職域型年金委員に対しては、全国健康保険協会青森支部や青森、八戸、弘前、むつの各社会保険委員会との共催による研修会を開催し、年金制度の概要について周知を図り、従業員の方々への制度周知や広報を依頼しました。また、11月の年金委員の功労者表彰にあわせて研修会を実施しました。

地域型年金委員に対しては、各年金事務所における地域型年金委員連絡会等を活用し、年金制度改正を始めとした制度研修会を実施するとともに、「広報誌『支えあい』」、「地域型年金委員の手引き」や制度広報用リーフレット等の配付を行い、地域の方々への制度周知に努めていただきました。

また、各地域における町内会施設等へのポスターの掲示や「回覧板」を活用した制度広報の協力をいただきました。

令和2年3月31日現在

事務所名	職域型			地域型		
	対象委員数	参加者数 (延べ)	実施回数	対象委員数	参加者数 (延べ)	実施回数
青 森	391名	338名	4回	28名	16名	2回
八 戸	485名	764名	6回	12名	12名	2回
弘 前	410名	362名	4回	19名	7名	2回
む つ	140名	72名	1回	10名	5名	1回
合 計	1,426名	1,536名	15回	69名	40名	7回

② 年金委員表彰の実施

「ねんきん月間」において、多年にわたり年金事業の推進及び発展に貢献された年金委員の方々に対し、年金委員功労者表彰伝達式を開催しました。

開催にあたっては、県内の全年金事務所、全国健康保険協会青森支部、一般財団法人青森県社会保険協会、青森県社会保険委員会連合会との共催により開催しました。

- 開催日 令和元年11月14日(木)
- 開催場所 ホテルクラウンパレス青森
- 受賞者数 厚生労働大臣表彰 1名
日本年金機構理事長表彰 3名
日本年金機構理事表彰 9名
- 表彰伝達式出席者 64名

※共催機関においても、それぞれ表彰を行いました。

健康保険委員の功労者表彰伝達式の様子



年金委員の功労者表彰伝達式の様子



③ 年金委員の委嘱拡大に向けた取組み

- ・ 社会保険適用事業所を対象とした各種研修会等や新規適用時、事業所調査時に、年金委員の推薦依頼を実施しました。
- ・ (一財) 青森県社会保険協会が発行している会報誌(10月号)「社会保険あおもり」に「年金委員・健康保険委員」募集の記事掲載の協力をいただきました。
- ・ 年金委員の未設置事業所に対して、春の事務担当者の交代の時期及び、前記の社会保険協会の記事掲載に併せて、11月の「ねんきん月間」に全年金事務所において文書による推薦勧奨を実施し、新たな委嘱を得ることができました。
- ・ 全国健康保険協会青森支部の協力により、新規の健康保険委員へ年金委員制度の周知及び推薦の勧奨案内文書を同封していただきました。
- ・ (一財) 青森県社会保険協会と青森県年金受給者協会連合会に対して、年金委員の委嘱拡大への協力依頼を実施しました。

○ 年金委員数の推移

令和2年3月31日現在

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
職域型	1,505名	1,486名	1,449名	1,429名	1,426名
地域型	87名	81名	79名	67名	69名
合 計	1,592名	1,567名	1,528名	1,496名	1,495名

	実施月	対象事業所の条件	勧奨事業所数	推薦件数
青森	5月	被保険者数20名以上	485事業所	3事業所
	11月	被保険者数10～19名	645事業所	12事業所
八戸	6月	被保険者数50名以上	212事業所	3事業所
	11月	被保険者数30～49名	219事業所	4事業所
弘前	7月	被保険者数50名以上	153事業所	2事業所
	11月	被保険者数30～49名	158事業所	4事業所
	12月	既設置事業所	373事業所	17事業所
むつ	6月	被保険者数20名以上	102事業所	1事業所
	11月	被保険者数20名以上	101事業所	1事業所

(2) 総括・分析と今後の対策

総括・分析

- ・ 年金制度の概要や改正についての周知を図るための職域型・地域型年金委員への研修会の開催をすべての年金事務所において実施しました。また、地域型年金委員連絡会を活用し、地域住民への制度周知とチラシ配付を依頼しました。
- ・ 全国健康保険協会青森支部の協力により、新規健康保険委員委嘱者に対し年金委員制度の周知・勧奨を実施しました。
- ・ 年金委員の委嘱拡大のため、年金委員未設置事業所への委嘱勧奨や、解嘱申し出のあった事業所に後任者の推薦依頼、及び解嘱者へ地域型年金委員への移行勧奨を実施したところ、前年度比プラスには至りませんでした。これまでの減少にある程度の歯止めをかけることができました。

今後の対策

- ・ 職域型年金委員について、研修会内容の充実を図るとともに、全国健康保険協会青森支部と連携を図りながら研修会を開催いたします。
- ・ 地域型年金委員について、連絡会を開催し連携を図りながら情報共有を積極的に行ってまいります。
- ・ 委員数の拡大を図るため、職域型について未設置事業所への勧奨を継続して実施し、地域型について市町村、青森県社会保険労務士会および青森県年金受給者協会への協力依頼と働きかけを行ってまいります。
- ・ 弘前年金事務所で効果があった、年金委員の既設置事業所に対する「複数名の委員の設置依頼」の勧奨を全年金事務所で実施します。

5 「ねんきん月間」「年金の日」の取組

日本年金機構は、厚生労働省と協力して国民の皆さまに公的年金を身近に感じていただき、年金制度に対する理解を深めていただくよう、11月を「ねんきん月間」と位置付け、公的年金制度の普及・啓発活動を展開しました。

また、国民お一人お一人に「ねんきんネット」等を利用して年金記録や年金受給見込額を確認していただき、高齢期に備え、その生活設計に思いを巡らしていただくことを目的として、厚生労働省において、平成26年度より11月30日(いいみらい)を「年金の日」に制定し、公的年金制度に対する理解を深めていただくことを目的とした取組を実施しました。

「ねんきん月間」

- 職域型年金委員を対象とした研修会と県内合同の年金委員の功労者表彰伝達式を開催しました。
 - 各市町村において、出張年金相談会と国民年金保険料納付相談会を実施しました。
- ※ 各年金事務所における取組(詳細)については、21～24ページを参照。

「年金の日」

事務所名	取組場所	取組内容
青 森	青森市郊外商業施設	予約相談チラシ及び年金パンフレット等配布
む つ	むつ市街商業施設	予約相談チラシ及び年金パンフレット等配布
全事務所	各年金事務所	「ねんきんの日」(11月30日(土)) 休日開所による年金相談を実施

6 青森県地域年金事業運営調整会議

地域住民の公的年金制度に対する理解をより深め、制度への加入や国民年金保険料納付の向上に繋がるよう地域における支援のネットワークを構築し、地域に根ざした年金事業の積極的な推進を図ることを目的として、地域年金事業運営調整会議を開催しました。

<第14回会議>

【開催日】

・令和元年7月25日

【議事内容】

・平成30年度青森県地域年金展開事業 取組報告

・令和元年度青森県地域年金展開事業 事業計画

<第15回会議>

【開催日】

・令和2年1月28日

【議事内容】

・令和元年度青森県地域年金展開事業 取組状況

・令和2年度青森県地域年金展開事業 事業計画(案)

○第15回青森県地域年金事業運営調整会議時の意見への対応状況

事業種類	ご意見の内容	対応状況
地域相談事業	ハローワークむつにおける国民年金制度説明会で、可搬型が配置されない状況はサービス低下となっているので、できるだけ早い時期の配置を要望します。	令和2年6月に可搬型装置を配置することができました。なお、現在は、新型コロナウイルス感染予防対策のためハローワークにおける離職者説明会が開催されていない状況です。
	ハローワークにおける届け出受理件数が把握できないことは了解しましたが、数字が取れ、効果が図れることについて大事ですので、取れるように要望します。	件数把握のために、全国一律の委託業務の仕様書を変更することは困難ですが、ハローワークにおける制度説明会は、機構本部においては、これまでの件数報告の分析で、効果があったと認識しております。また、ハローワークにおける説明会は、国民年金の手続きが必要な離職者の方々に接し、直接ご説明できる機会として非常に有効であるものとして実施しています。
年金セミナー事業	年金セミナーのアプローチは、前年度から開催依頼を行い、さらに実施年度に実施希望を聞きながらそれに沿った形をとると、リピーターの安定にもつながると思います。また、実施校だけではなく地域で実施率を出すことも1つの方法と考えます。	年金セミナー実施時に、2学年主任や現担当者に対して、次年度の早い時期でのセミナー開催の協力依頼を実施させていただきました。また、平成26年度以降の年金事務所ごとのセミナー実施率も作成し、年金セミナーアプローチ時に活用しております。
その他	学生納付特例申請について、県内の代行事務対応校を増やすことが肝要と考えますが、そのような考えはないのか。	学生納付特例事務法人（以下、「学特法人」という。）は国の指定事務であり、主体は厚生局になりますが、大学への年金セミ (次ページへ)

事業種類	ご意見の内容	対応状況
		ナー開催依頼時に学生の手続き等の利便性を説明するなど、学特法人の指定を受けていただけるよう協力依頼を行っており、引き続き厚生局とも連携を図りながら協力依頼を実施していきます。 なお、令和2年8月1日付け弘前管内の大学校と系列校を含め3校が学特法人の指定を受けることになりました。
その他	運営調整会議は国民年金の納付率を一つの指標として、これが上がるように知恵を出し合う会議と理解しています。そういう事で委員の皆さんにも議論を投げかけていただくよう要望します。	委員の皆様の機関において、公的年金制度を多くの国民に正しくご理解いただくための取り組みとして、どのようなご協力をいただくことができるのか、ご意見をいただけるよう会議の進行に努めてまいります。 ご意見を参考に地域年金展開事業にしっかり取り組んで行くことが納付率の向上につながるものと考えております。
その他	資料に対する事前質問について、会議の前に回答資料を文書でいただきたいことと、議事録等と一緒に資料をホームページにアップしていただくよう要望します。	事前質問と事前回答に努めてまいります。 今回、新型コロナウイルス感染症対策の中、会議が中止となりましたが、資料に関するご質問をいただきながら、ご対応させていただきたいと思っております。

7 各年金事務所の取組状況

青森年金事務所の取組

《ねんきん月間の取組結果》

- 青森市郊外大型商業施設において、「年金の日」「予約相談」「ねんきんネット」や年金生活者支援給付金制度など公的年金制度チラシ等の配布を、地域型年金委員2名の参画を得ながら実施。
- 平内町、蓬田村、外ヶ浜町および野辺地町において、国民年金保険料の納付相談会を実施。
- ハローワーク青森・野辺地において、離職者を対象として国民年金加入手続きおよび年金相談会を実施。
- 職域型年金委員の未設置事業所あて、年金委員の推薦依頼の勧奨を実施。
- 地域型年金委員へ、「年金生活者支援給付金制度」や「年金の日」のポスター等の掲示等協力依頼を実施。



大型商業施設での公的年金制度チラシ等配布



《その他の主な取組結果》

- 年金委員委嘱拡大の取組として、毎月の新規適用事業所に対し、年金委員制度の周知及び推薦勧奨の依頼文書を送付。(勧奨件数 184事業所、推薦件数 3事業所)

八戸年金事務所の取組

《ねんきん月間の取組結果》

- 管内職域型年金委員を対象とした研修会を実施。
- 年金事務所内で近隣の保育園児による児童画を展示。
- 管内の大学・専門学校・高等学校において、「学生納付特例相談窓口」「年金セミナー」を実施。
- ハローワーク八戸・十和田・三沢において、離職者を対象とした国民年金加入手続きおよび年金相談会を実施。
- 南部町において、「国民年金保険料納付相談会」を実施。
- 窓口延長を行いながら、「国民年金保険料納付相談会」を実施（金曜日を除く）。
- 十和田市において、出張年金相談を実施。

《その他の主な取組結果》

- 十和田市、五戸町、六戸町、階上町の広報誌へ、ねんきんネット及び国民年金制度広報を実施。



保育園児による
児童画の展示



弘前年金事務所の取組

《ねんきん月間の取組結果》

- 職域型年金委員を対象とした研修会を実施（弘前市、五所川原市）。
- ハローワーク弘前・黒石・五所川原において、離職者を対象として、国民年金加入手続きおよび年金相談会を実施。
- 五所川原市、つがる市において、出張年金相談を実施。



年金セミナーの様子

《その他の主な取組結果》

- 地域型年金委員に対しての研修会を実施。
- 職域型年金委員の未設置事業所あて、年金委員の推薦依頼の勧奨を実施。
- 職域型年金委員が既に1名設置されている事業所に対して、複数名の推薦依頼を実施。
- ハローワーク弘前と連携を図り、事業所閉鎖に伴う国民年金制度や手続き等について、一般被保険者への説明会を実施。（1事業所39名）

むつ年金事務所の取組

《ねんきん月間の取組結果》

- 職域型年金委員を対象とした研修会を実施。
- 年金事務所で国民年金加入者を対象に時間延長納付相談会を実施。
- ハローワークむつにおいて、離職者を対象として国民年金加入手続きおよび年金相談会を実施。
- むつ市内商業施設で、予約年金相談のチラシを配布。



商業施設での予約年金相談のチラシ配布

《その他の主な取組結果》

- 職域型年金委員の未設置事業所あて、年金委員の推薦依頼の勧奨を実施。
- 地域型年金委員連絡会にて「ねんきんネット利用促進リーフレット」「予約相談リーフレット」「支援給付金制度ポスター」を配布。
- 職域型年金委員へ「ねんきんネット」利用に必要なアクセスキー発行の協力依頼を実施。
- 事業所調査時に、「ねんきんネット」リーフレットを配布し、利用登録の協力依頼を実施。
- 初任者社会保険事務講習会において、予約年金相談の周知及び、年金委員推薦の依頼を実施。